

# 埼玉版SDGsの推進

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの協働を通じ、ワンチーム埼玉でSDGsを推進



# 埼玉県ESG債の発行目的

- 「5か年計画」では、2040年を見据えた埼玉県の目指す「3つの将来像」を掲げ、将来像の実現に向けた基本姿勢として、「**埼玉版SDGsの推進**」を計画の全施策を貫く、横断的な視点として位置付け
- 3つの将来像の実現に向けた施策・取組を着実に推進するため、**埼玉県ESG債**によりその財源を確保

## 埼玉県ESG債

環境(E: Environment)、社会(S: Social)、ガバナンス(G: Governance)

### サステナビリティボンド

**グリーンプロジェクト**

(環境問題の解決)

**ソーシャルプロジェクト**

(社会的課題の解決)

【サステナビリティボンド・ガイドライン 2021(国際資本市場協会※)による定義】

サステナビリティボンドとは、調達資金の全額がグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに充てられる債券である。

※国際資本市場協会( ICMA )：世界の金融機関等が加盟する国際機関

# 令和4年度の発行実績

- **都道府県初のサステナビリティ債券発行**
- 150億円の発行額に対し、**58社から約593億円(約4倍)の購入意向を確認**
- 「埼玉県ESG債」の趣旨に賛同いただき、投資表明された**55社の投資家を県HPで公表**

	法人投資家向け
銘柄名称	埼玉県第1回公募公債（サステナビリティ債券・10年）
発行額	150億円
年限	10年（満期一括）
利率	0.379%
利率決定日	令和4年9月2日
発行日	令和4年9月20日
引受会社	野村証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/みずほ証券
<b>最終需要額</b>	<b>58社 593.1億円</b>
<b>うち投資表明者数</b>	<b>55社</b>
<b>うちSDGsパートナー</b>	<b>14社</b>

# 令和4年度 インパクトレポート

- 令和4年度埼玉県ESG債で調達した資金の充当状況や事業効果などを記載した「埼玉県ESG債インパクトレポート(暫定版)」を公表しています。



### 事業成果 ~ グリーンプロジェクト ~

災害・危機に強い埼玉の構築		災害・危機に強い埼玉の構築											
治水・治山対策の推進		治水・治山対策の推進											
<b>◆ 河川改修や調節池の整備・質的改良</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>浸水被害の軽減を図るため、河川改修や調節池の整備を実施しました。</li> <li>越水した場合であっても、決壊しにくい「粘り強い堤防」を目指した堤防強化を実施しました。</li> </ul>		<b>◆ 砂防関係施設の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>土石流、がけ崩れ、地すべり等から住民の生命、財産を守るため、土砂災害防止施設の整備を進めました。</li> </ul>											
 <p>河川改修 調節池整備</p>		 <p>砂防堤</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業成果</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川整備が完了した河川の延長</td> <td>3.1km (累計整備率62.3%)</td> </tr> <tr> <td>床上浸水被害の解消が想定される家屋数</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table>		事業成果		河川整備が完了した河川の延長	3.1km (累計整備率62.3%)	床上浸水被害の解消が想定される家屋数	12件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業成果</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂防関係施設整備により保全される避難所等の数</td> <td>12か所</td> </tr> </tbody> </table>		事業成果		砂防関係施設整備により保全される避難所等の数	12か所
事業成果													
河川整備が完了した河川の延長	3.1km (累計整備率62.3%)												
床上浸水被害の解消が想定される家屋数	12件												
事業成果													
砂防関係施設整備により保全される避難所等の数	12か所												
<b>◆ 治山施設・保安林の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨等により崩壊した山林の復旧や、土石流や落石等の被害の発生するおそれのある箇所への防工事を行いました。</li> </ul>		 <p>治山復旧</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業成果</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山地災害危険地区着岸率 (着手済箇所/危険地区全箇所)</td> <td>49.1%</td> </tr> <tr> <td>山地災害危険地区の着手箇所数</td> <td>8か所</td> </tr> <tr> <td>新生崩壊地等への対策箇所数</td> <td>21か所</td> </tr> </tbody> </table>		事業成果		山地災害危険地区着岸率 (着手済箇所/危険地区全箇所)	49.1%	山地災害危険地区の着手箇所数	8か所	新生崩壊地等への対策箇所数	21か所				
事業成果													
山地災害危険地区着岸率 (着手済箇所/危険地区全箇所)	49.1%												
山地災害危険地区の着手箇所数	8か所												
新生崩壊地等への対策箇所数	21か所												

< 埼玉県ホームページに掲載 >  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0103/esgsaihakkou.html>

# 令和5年度の発行計画

年 限	10年(満期一括)
発行額	300億円 ※うち10億円を個人投資家向けに発行
発行月	令和5年8月

	法人投資家向け	個人投資家向け
発 行 額	290億円	10億円
購 入 対 象	法人	(1)埼玉県にお住まいか、お勤めの個人 (2)埼玉県内に事業所のある法人・団体 (3)埼玉県を応援する個人・法人等
購 入 単 位	1,000万円単位	1万円単位
購 入 限 度 額	上限なし	法人は1,000万円まで ※個人は上限なし
利 率 決 定 日	令和5年8月4日(予定)	
募 集 期 間	—	令和5年8月7日~28日(予定)
主幹事証券会社	野村証券、みずほ証券、大和証券	

# グリーンプロジェクトの主な充当事業①

## 1 災害・危機に強い埼玉の構築

## 3 治水・治山対策の推進

### ◆ 埼玉版流域治水対策の継続と深化

河道や調節池の整備、土砂災害対策などを加速化し「防災力」を高めるとともに、情報空白地帯への水位計や河川監視カメラの設置など「減災力」も高める施策を進める。

#### 激甚化する水災害などへの備え

- 河川施設整備の加速化
- いのちとくらしを守る土砂災害対策
- 流域対策の強化



河川整備



砂防関係施設整備

#### ITを活用した河川防災情報の拡充

- 河川情報の充実
  - ・水位計、河川監視カメラ等の設置
  - ・水門の遠隔操作システムの導入



河川監視カメラ

# グリーンプロジェクトの主な充当事業②

## 10 豊かな自然と共生する社会の実現

### 41 みどりの保全と創出

#### ◆ 身近な緑の保全

市町村や環境団体と協働した緑地の公有地化を行う。



#### ◆ 森林の循環利用の促進

皆伐・再造林や間伐等の適切な実施により「伐って・使って、植えて、育てる」森林の循環利用を促進する。



## 12 儲かる農林業の推進

### 54 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

#### ◆ 森林管理道や作業道の整備促進

適切な森林整備の推進や林業経営の効率化及び山村生活環境の改善などを図るため、その基盤となる森林管理道を整備する。



森林管理道

# ソーシャルプロジェクトの主な充当事業①

## 1 災害・危機に強い埼玉の構築

### 1 危機管理・防災体制の再構築

#### ◆ 災害対策本部の機能強化

デジタル技術の導入により災害対策本部統括部の情報の収集・加工・発信能力の強化を図る。



### 2 大地震に備えたまちづくり

#### ◆ 橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強

橋りょうの計画的な点検・修繕・更新を行うとともに、大規模地震の発生に備え、耐震補強を進める。



#### ◆ 市街地整備事業の促進

安全性・利便性向上に配慮した都市基盤を整備し、誰もが暮らしやすく魅力あるまちづくりを進める。



土地区画整理事業により整備された都市計画道路



# ソーシャルプロジェクトの主な充当事業②

## 4 子育て希望が持てる社会の実現

### 18 児童虐待の防止・社会的養育の支援

#### ◆ 朝霞児童相談所（仮称）の新設

管轄人口の平準化、迅速かつきめの細かい対応を図るため、朝霞市内に県設置8番目の児童相談所（一時保護所付設）を整備する。

➢ 令和7年度開所予定



朝霞児童相談所(仮称)イメージ

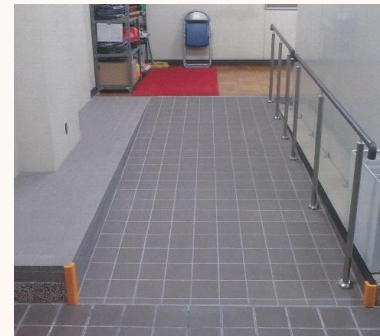
## 5 未来を創る子供たちの育成

### 22 質の高い学校教育の推進

#### ◆ 安全で快適な学習環境の整備・充実

県立高校にスロープ設置やエレベーター設置等のバリアフリー化を実施し、歩行に障害のある生徒が進学先の高校を幅広く選択できるよう、安全で快適な学習環境の充実を図る。

(スロープ整備)



(エレベーター整備)



改修イメージ